

# Book Preview

富山高校図書館 2021.3



## 『 火山のふもとで 』

松家 仁之／著

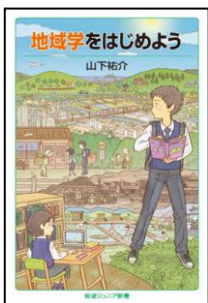
「夏の家」では、先生がいちばんの早起きだった。一物語は、1982年、およそ10年ぶりに噴火した浅間山のふもとの山荘で始まる。「ぼく」が入所した村井設計事務所は、夏になると、軽井沢の別荘地に事務所機能を移転するのが慣わしだった。所長は、大戦前のアメリカでフランク・ロイド・ライトに師事し、時代に左右されない質実でうつくしい建物を生みだしてきた寡黙な老建築家。秋に控えた「国立現代図書館」設計コンペに向けて、所員たちの仕事は佳境を迎え、その一方、先生の姪と「ぼく」とのひそやかな恋が、ただいちどの夏に刻まれてゆく。小説を読むよるこびがひとつひとつのディテールに満

ちあふれた、類まれなデビュー長篇。

## 『 小学館文庫 大コメ騒動 』

戸屋 まい／著

「米を旅に出すなー！！」一九一八（大正七）年、富山県から全国に広がり、時の内閣を退陣させるまでに至った「米騒動」。その発端は、家族の命を守りたいと願う母たちの切なる想いだった。富山の貧しい漁師町で暮らす松浦いととは、重い米俵を担いで浜の船まで運び入れ、日当を受け取っていた。しかし米の価格はどんどん高騰し、ついに日々の暮らしにも困るようになる。追い詰められたいとたちは米の積み出し阻止を試みるも失敗。そして最悪の悲劇がー。



## 『 岩波ジュニア新書 地域学をはじめよう 』

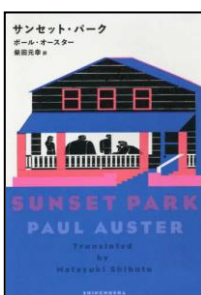
山下 祐介／著

「自分の育った地域なんてたいしたことない」。そう思っている若者は多い。本当にそうなのだろうか？どの地域にも固有の歴史や文化があり、人々の営みがある。それらを知っていくことで、地域の豊かさ、そして自分や自分が生きる社会、そして未来が見えてくる。調査実習の手法や体験も織り込みつつ、時間と空間を往来しながら、地域学の魅力を伝える。

## 『 ポロック生命体 』

瀬名 秀明／著

シンギュラリティに備えよ！VS. 将棋、VS. 小説、VS. 絵画ー。人工知能が、将棋の永世名人を破るときが来た。小説の面白さを分析、数値化し、それに基づいて魅力的な物語が生まれるようになった。ディープラーニングで創作を会得したAIが、「新作」の絵画を発表した。では、AIが制作した作品は「芸術」と呼べるのか？AIは人類と共存出来るのか？技術者とAIが次に目指す世界とは？人工知能は、芸術家の夢を見るか？



## 『 サンセット・パーク 』

オースター, ポール／著

彼は28歳で、自ら知る限り何の野心もない。リーマン・ショック大不況下のブルックリン。名門大を中退したマイルズは、霊園そばの廃屋に不法居住する個性豊かな仲間に加わる。デブで偏屈なドラマーのビング、性的妄想が止まらない画家志望のエレン、高学歴プアの大学院生アリス。それぞれの苦悩を抱えた男女4人は、見捨てられたこの小さな家から、不確かな未来へと歩み出す。不安の時代をシェアする若者たちのリアルを描く愛と葛藤と再生の物語。